

各 位

会 社 名 三櫻工業株式会社
代 表 者 取 締 役 社 長 竹 田 玄 哉
(コード番号：6584 東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 員 松 本 安 生
ガバナンス統括本部長
(TEL.03-6879-2622)

データセンター向け水冷冷却装置 新機種を開発

三櫻工業株式会社（登記社名：三櫻工業株式会社、以下「当社」）は、サーマル・ソリューション事業の注力分野の一つであるデータセンター向け的水冷冷却装置の新機種（フィンパイプタイプ冷却装置）を開発しました。

フィンパイプタイプ冷却装置は、本年2月に発表したパイプタイプ冷却装置（リアドア式）（※）と同様にデータセンターのサーバーラック背面に取り付け、排熱される高熱を水冷冷却する機能を持つ製品の最新機種となります。構造上の特長としてはパイプ表面をフィン付き加工とすることで熱交換率を高め、それにより前機種同等の熱交換性能にて機器の奥行寸法を4分の1に大幅削減、重量も2分の1に大幅削減しております。

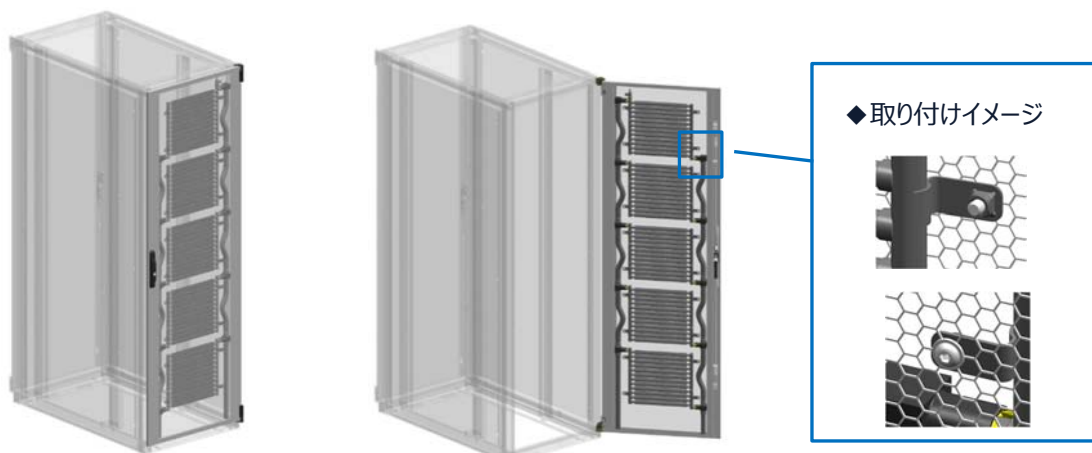
（※ 2月14日発表：「データセンター向け水冷冷却装置を開発」 ）



※前機種（右側）との奥行寸法比較

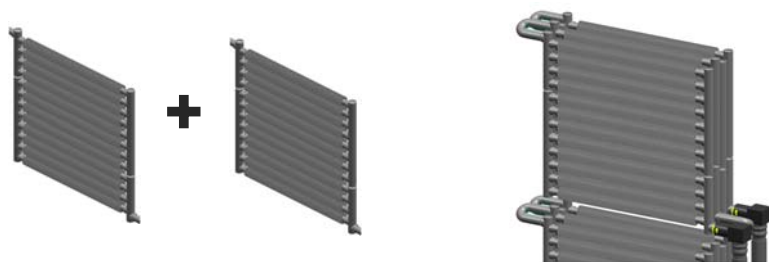
寸法・重量ともコンパクトな設計としたことで、データセンター等に設置されている既存のサーバーラックの背面ドアへの取り付けが可能となり、新たな専用サーバーラックの導入や奥行きを増やすための拡張フレーム装着が不要となるため、経済性、保守作業性などが当社製品の優位性となります。

(サーバーラックへの装着イメージ)



※ラックデータ：河村電器産業（株）様ご提供

製品を複数枚重ねることで熱交換能力を高めることが可能となるため、ラック背面全体ではなく一部分だけを集中的に冷却するといった活用方法も可能となります。



(4重化×2段のイメージ)

当社ではガソリン配管・ブレーキ配管など自動車の重要保安部品、並びに2020年のスーパーコンピュータ「富岳」の水冷冷却配管部品を手掛けている実績に基づき、今後もデータセンターのサーバーーム内における水漏れリスクへの懸念を払拭する高い品質と、環境負荷低減にも資する水冷システム用製品を提供してまいります。

国内に設計、開発拠点を有することでお客様の個別のニーズにも柔軟な対応が可能です。

当社では、サーマル・ソリューション事業の拡大を重要な経営課題の一つと位置付けています。引き続き、お客様のニーズに合わせた研究・開発に努めてまいります。

以上